



学力UP便り



学習で使用するノートについて



新学期が始まって2週間ほどがたちました。子どもたちは新しい教室にもなれ、教科書も少しずつ進んでいます。

学力UP便りの2号では、本格的に軌道に乗り始めた学習の様子を受け、文房具等の準備や、ぜひ統一させたい規格について、紹介させていただきます。

学習のノートは、マス目の数が学年で統一されていると、「書く場所」が明確に分かり、特に低学年の子どもたちにとっては学習の助けとなり、またすべての学年での「きれいなノート作り」にも役立ちます。ノートを新しくされる際などには、ぜひ、御配慮いただければと思います。

1年生	国語	15マスリーダー入り(入学時は8マスリーダー入り)
	算数	17マス(入学時は6マスリーダー入り左横開き)
2年生	国語	15マスリーダー入り
	算数	17マス

3年生以上 国語・算数共通 22マス 5ミリ方眼リーダー入り

*3~6年生の国語、算数ノートは、22マスのもの、23マスのものがあるので、22マスのもので統一したいと考えています。ご協力、よろしくお願いいたします。

コンパス、分度器…は、こんなものを!



小学校の算数では、2年生で竹ものさし、3年生になるとコンパスや三角定規、さらに4年生では分度器の使い方を学習します。このうちコンパスや三角定規、分度器には、いろいろな種類やデザインの商品が売られていますが、ときどき授業中にうまく使えずに困っている子がいます。そして実は、使い方の問題ではなく、道具に問題がある場合も少なくありません。そこで、帯広小学校では、次のようなタイプのものをお勧めしています。新しく購入されるときに、ぜひ参考にいただければと思います。

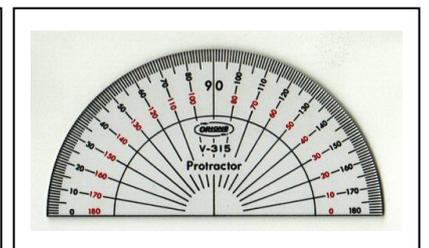
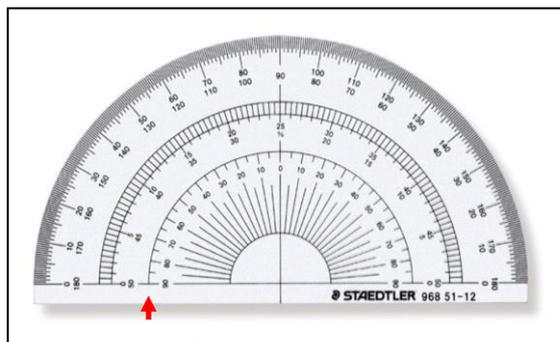
コンパス・・・書く部分が鉛筆タイプ、あるいは芯タイプのもの。

三角定規・・・絵や色のついていない、透明なシンプルなもの。

分度器・・・「袴」のついたもの。直径9cmのものが、教科書の説明とぴったり合い、お勧めです。



鉛筆タイプ、芯タイプのコンパス



赤い矢印をつけた部分が「袴」です。最近では右の図のように、袴のないものもありますが、教科書では、袴のあるタイプで使い方を説明しています。